

2025年3月期 第2四半期決算説明会

連結決算の概要 事業環境および業績予想

株式会社SCREENホールディングス

代表取締役 取締役社長（CEO）

廣江 敏朗

代表取締役 専務取締役（CFO）

近藤 洋一

2024年10月31日

資料取り扱い上の注意

- ・ 本資料および口頭にて提供する業績予想は、当社が発表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・ 本資料に記載しております数字につきましては、単位未満切り捨てで処理しております。比率は四捨五入しております。
- ・ 本資料では、例えば、「FY2025/03」と示す場合、2024年4月1日～2025年3月31日の会計期間を表します。

FY2025/03Q2_20241031

SCREEN

Innovation for a Sustainable World

上期 連結決算の概要

2025年3月期 第2四半期決算説明会

株式会社SCREENホールディングス
代表取締役 専務取締役 (CFO)

近藤 洋一

2024年10月31日

FY2025/03 上期 連結業績の概要

- 前年同期比増収増益

- ・ 売上、営業利益（率）いずれも上期としては過去最高
- ・ 通期業績予想を上方修正。SPE、GA、FTが牽引
- ・ 通期配当予想を1株当たり233円から247円に上方修正（中間配当は1株当たり120円に増配）

- SPE：前年同期比増収増益

- ・ 売上・営業利益（率）いずれも過去最高
- ・ 下期も堅調

- GA、FT：上期業績上振れ

- 2Q営業CFは1Q比大幅回復

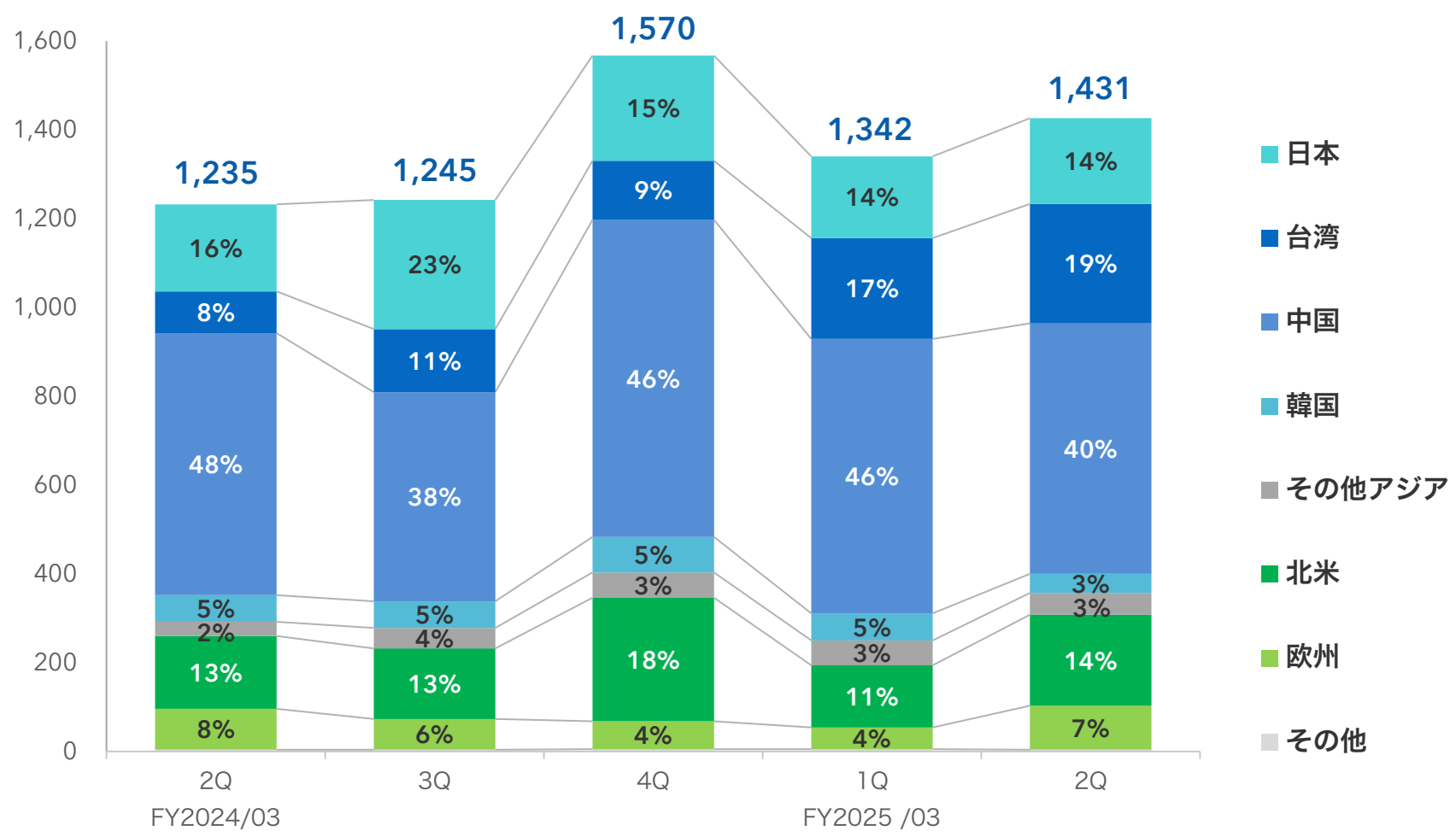
FY2025/03 上期 連結業績

四半期 (億円)

	FY2024/03						FY2025/03					
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	上期	前年同期比		
売上高	996	1,235	2,232	1,245	1,570	5,049	1,342	1,431	2,773	541	24.2%	
営業利益 営業利益率	134 13.5%	251 20.3%	385 17.3%	251 20.2%	304 19.4%	941 18.6%	277 20.7%	304 21.3%	582 21.0%	196	51.1% 3.7pt	
経常利益	136	256	393	253	295	942	278	307	586	192	49.0%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	94	169	263	182	259	705	182	206	388	124	47.4%	

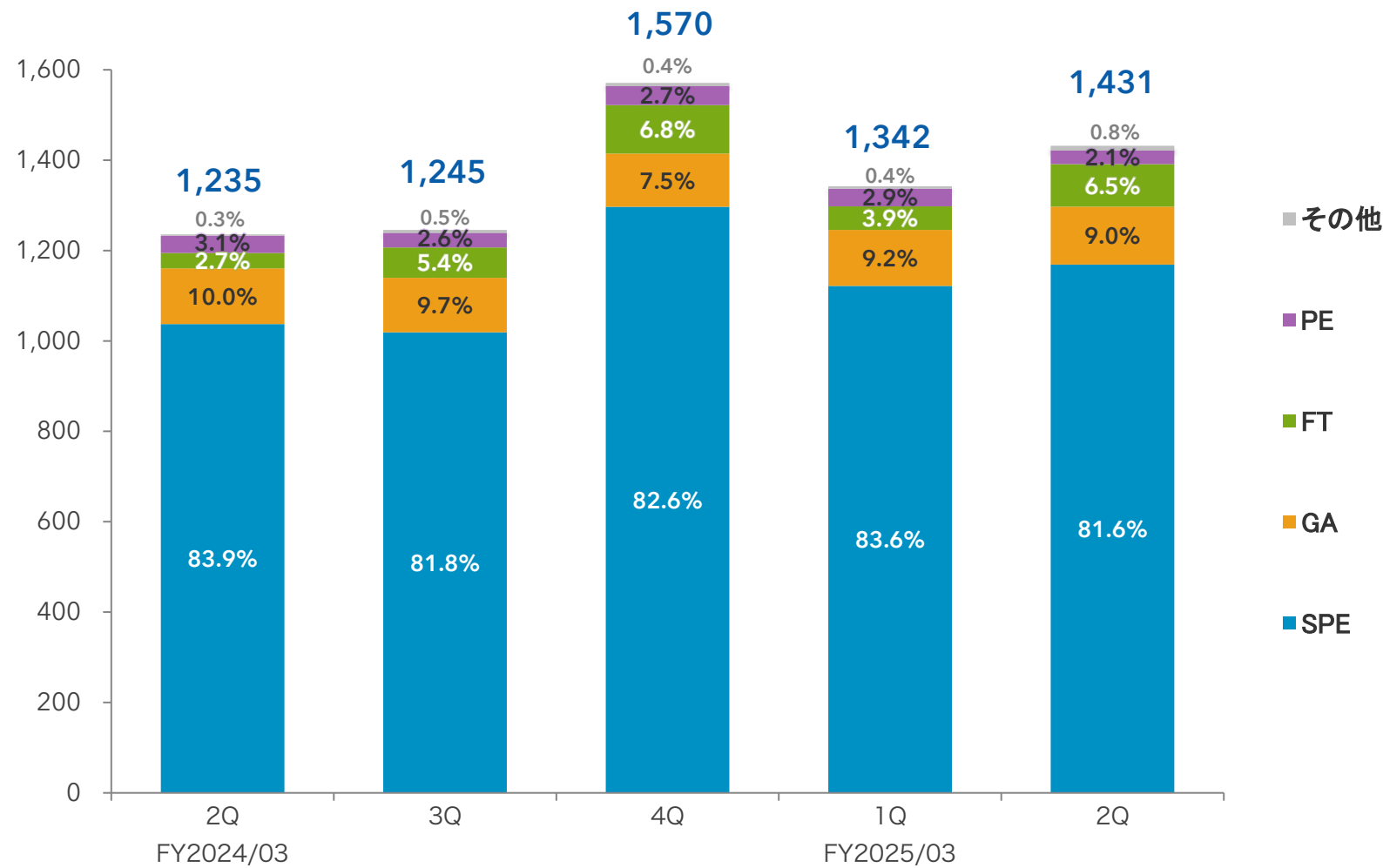
全社地域別売上高比率

四半期 (億円)



セグメント別売上高比率

四半期 (億円)



FY2025/03 2Q 連結業績

セグメント別

		FY2024/03			FY2025/03	
(億円)		2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
SPE	売上	1,037	1,019	1,296	1,121	1,168
	営業利益	251	255	325	290	299
	営業利益率	24.2%	25.1%	25.1%	25.9%	25.6%
GA	売上	123	120	117	123	128
	営業利益	12	13	7	8	12
	営業利益率	10.2%	11.0%	6.7%	6.6%	9.4%
FT	売上	33	67	107	52	93
	営業利益	-1	-0	2	-2	3
	営業利益率	-4.9%	-0.2%	2.2%	-5.0%	3.8%
PE	売上	38	32	41	39	30
	営業利益	6	2	5	5	1
	営業利益率	17.6%	7.7%	13.5%	12.8%	5.9%

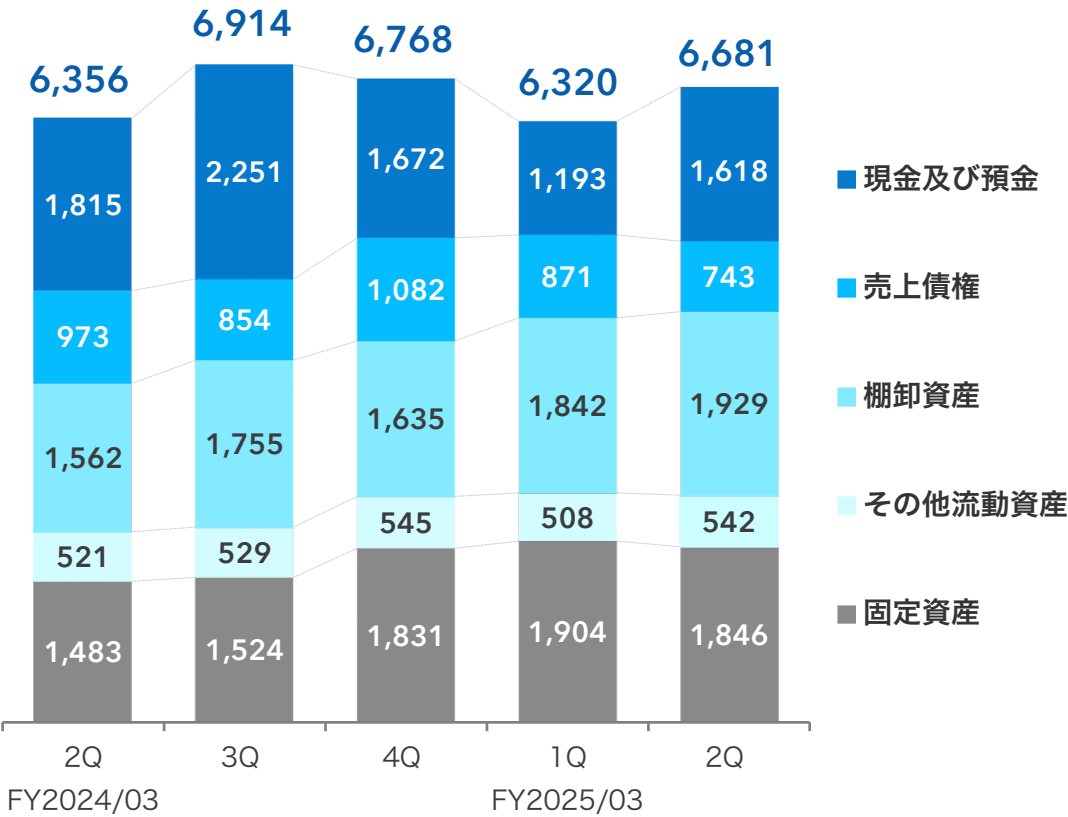
FY2025/03 上期 連結業績

セグメント別

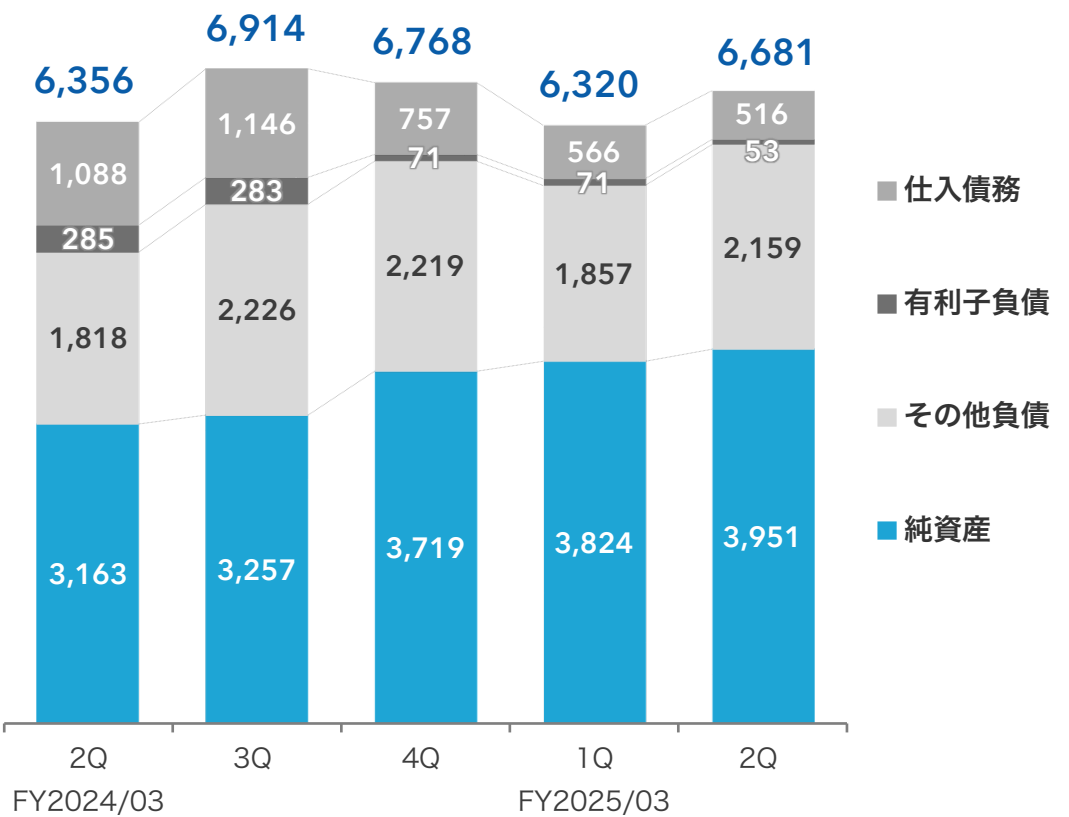
		FY2025/03		QoQ		FY2024/03	FY2025/03	YoY	
(億円)		1Q	2Q	売上増減	営業利益増減	上期	上期	売上増減	営業利益増減
SPE	売上	1,121	1,168	47 4.2%	9 3.1% -0.3pt	1,860	2,290	430 23.1%	200 51.6% 4.9pt
	営業利益 営業利益率	290 25.9%	299 25.6%	・増収増益 ・ロジック、ポストセールスが増加。台湾、北米向け増		389 20.9%	590 25.8%	・増収増益 ・ファウンドリー、メモリー向けが増加 中国、台湾向けが増加	
GA	売上	123	128	4 3.7%	3 46.7% 2.7pt	239	252	12 5.3%	-1 -7.7% -1.1pt
	営業利益 営業利益率	8 6.6%	12 9.4%	・増収増益 ・リカーリングビジネス比率増		21 9.1%	20 8.0%	・リカーリングビジネス好調により増収 ・固定費増により利益はほぼフラット	
FT	売上	52	93	41 79.9%	6 - % 8.7pt	57	145	88 152.2%	7 - % 11.8pt
	営業利益 営業利益率	-2 -5.0%	3 3.8%	・増収増益 ・赤字予想も実績黒字着地へ		-6 -11.2%	0 0.6%	・増収増益 ・LCD、OLED向けともに増加	
PE	売上	39	30	-8 -22.4%	-3 -64.4% -6.9pt	72	69	-2 -3.9%	-3 -34.8% -4.6pt
	営業利益 営業利益率	5 12.8%	1 5.9%	・減収減益 ・ポストセールスは堅調		10 14.4%	6 9.8%	・減収減益 ・装置需要来期回復に期待	

財務状況：連結貸借対照表

資産 (億円)



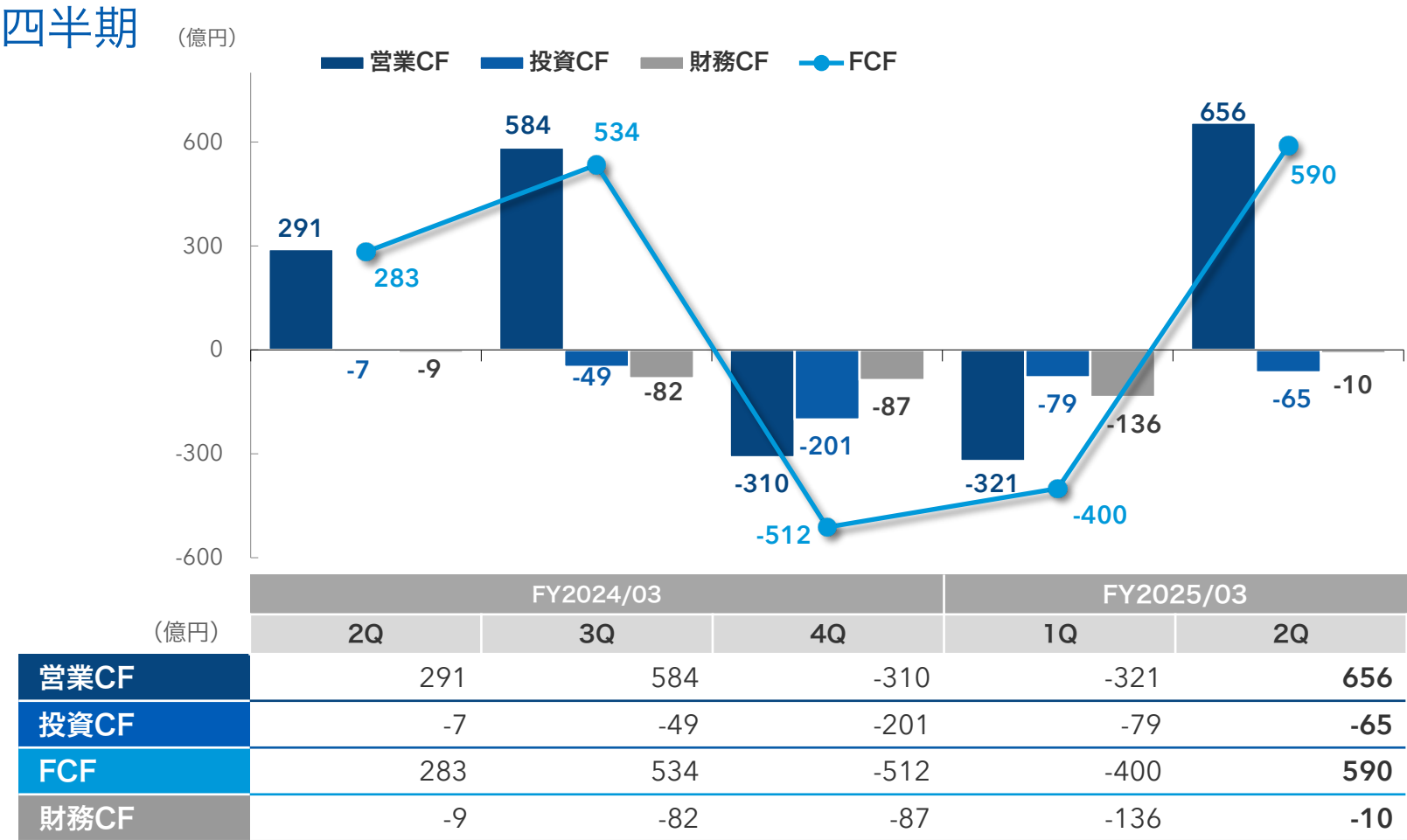
負債および純資産 (億円)



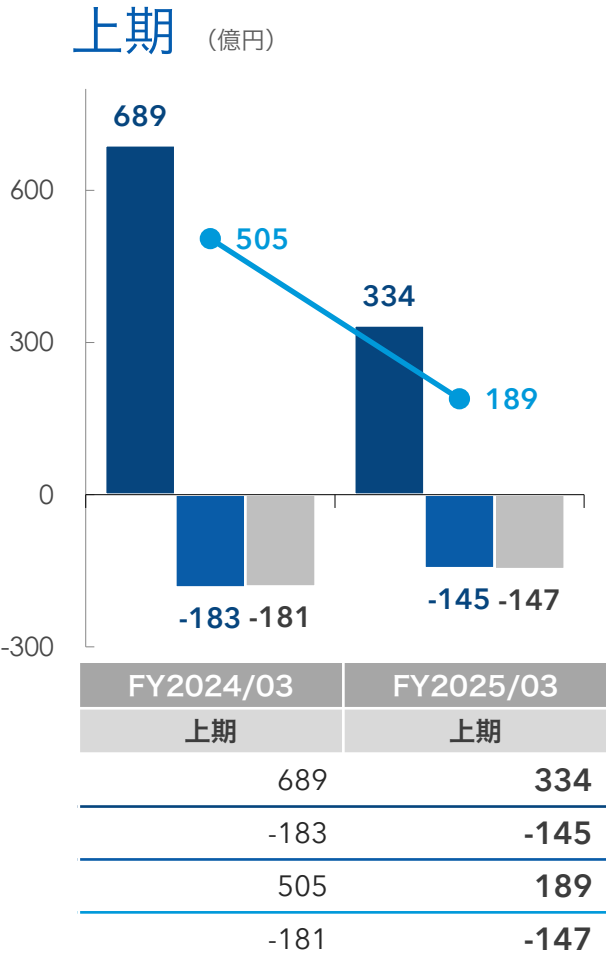
1Q比で現金及び預金が増加、利益の積み上げにより純資産も着実に増加

財務状況：連結キャッシュ・フロー

四半期



上期

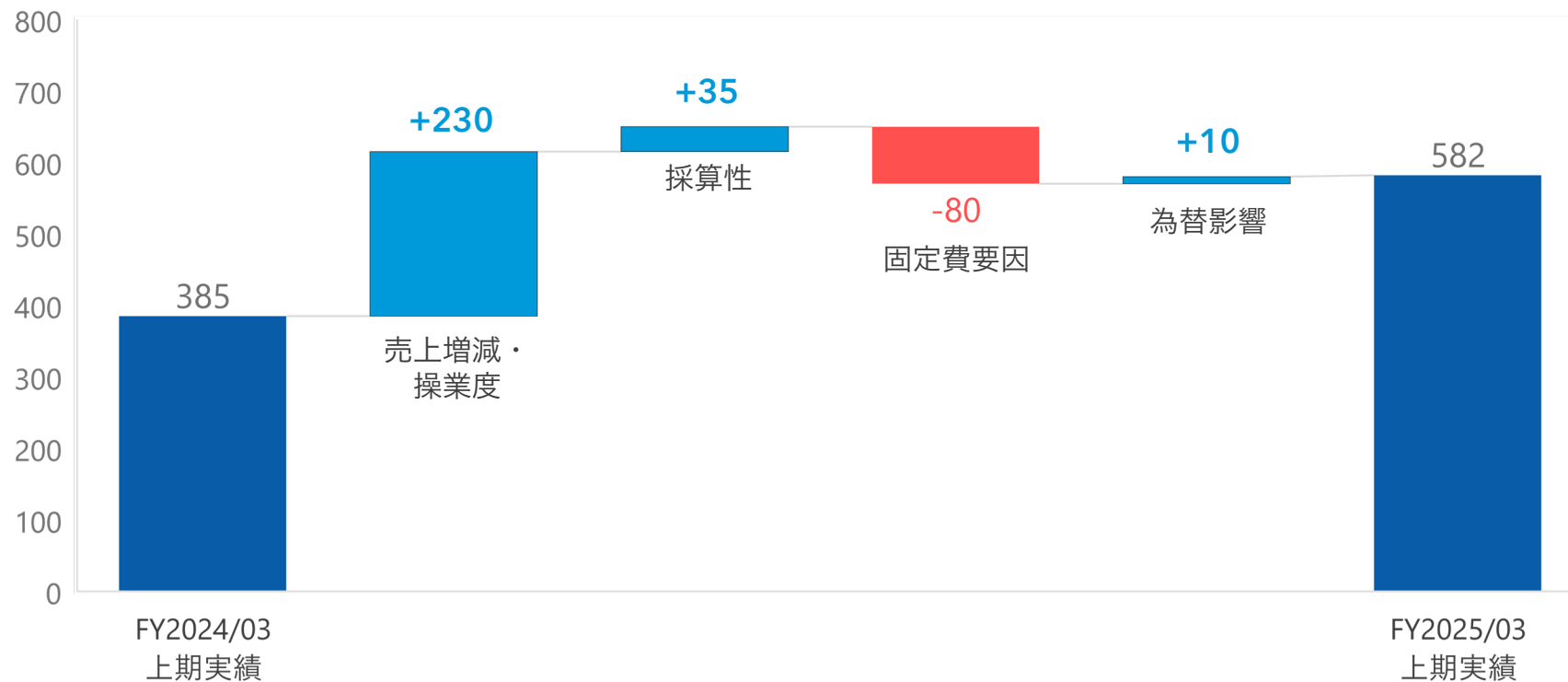


※ FCF：フリーキャッシュ・フロー

2Qの営業CFは、契約負債（主に前受金）の増加などにより656億円、1Q比大幅回復

營業利益増減分析

FY2024/03 上期実績 vs FY2025/03 上期実績 (億円)



※利益要因は、5億円刻みの「約」表記

- 売上増減/操業度の要因は**SPE**、**FT**。採算性の改善は主に**SPE**
固定費の増加要因は主に**SPE**の成長投資（人件費、減価償却費、研究開発費など）
為替影響は、**GA**、**PE**

事業環境および業績予想

2025年3月期 第2四半期決算説明会

株式会社SCREENホールディングス
代表取締役 取締役社長（CEO）

廣江 敏朗

2024年10月31日

事業環境および業績予想

事業環境

- SPE** | AI関連半導体が成長を牽引。サーバー、スマホ、PCいずれもプラス成長。金額ベースでサーバーの伸び率が顕著で、関連投資が活発。足元でDRAM価格低下も微細化投資は継続
- GA** | 欧米中心にPOD投資が堅調、納入装置稼働率が向上し、リカーリングビジネス好調
- FT** | ディ스플레이需要は想定どおり好転。今期、売上・受注はOLED中心となる見込み
- PE** | パッケージ関連投資の回復本格化は来期以降を見込む

業績予想

- FY2025/03 下期、通期予想、上方修正。前期比、増収増益
 - ▶ 通期の売上、営業利益、経常利益、当期純利益すべて、4期連続で過去最高を更新予定
- FY2025/03 中間配当は1株当たり120円（7月予想より11円の増配）
期末配当予想を1株当たり127円に上方修正、年間配当予想247円は過去最高

SPE 事業概況

市場動向および見通し

- **WFE：CY2024は1桁%中盤の成長。CY2025は1桁%中盤以上の成長を見込む**

ファウンドリー・ロジック：最先端向けの投資が加速するも、一部で見直しあり

メモリー：今年のWFE成長を牽引。来年も成長ドライバーになる見込み

- **アプリケーション別投資動向**

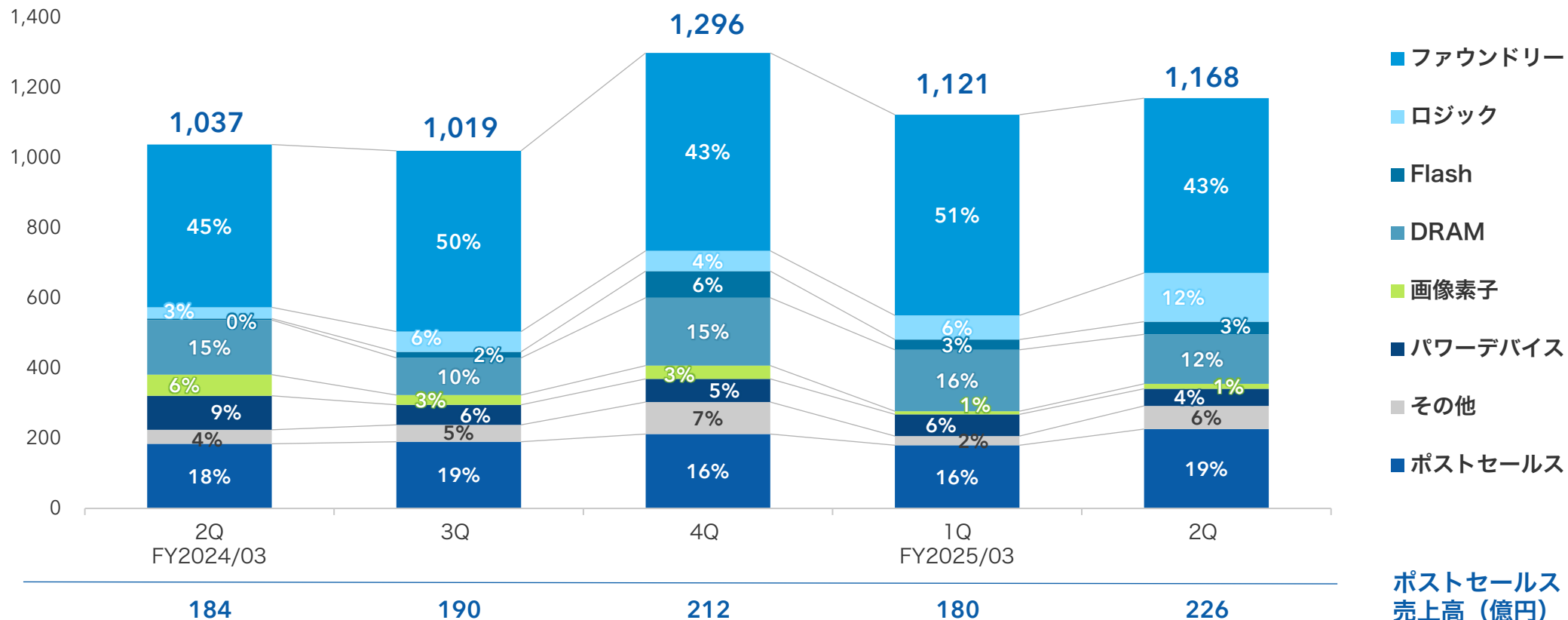
- **ファウンドリー** アドバンスドパッケージを含む最先端向け投資が着実に進行
- **ロジック** 規模見直しも一定規模の投資継続
- **メモリー** DRAMはHBM向け投資中心、NANDはサーバー容量やハイパースケーラー需要増加で投資進行
- **画像素子** 今年は抑え気味も、来年投資増を期待
- **パワーデバイス・その他** 来年需給バランス改善し投資回復を見込む

- **中国市場：一定規模の投資継続されるも、工場立ち上げフェーズに徐々に移行**

SPE 連結新規装置アプリケーション別、およびポストセールス売上推移

四半期

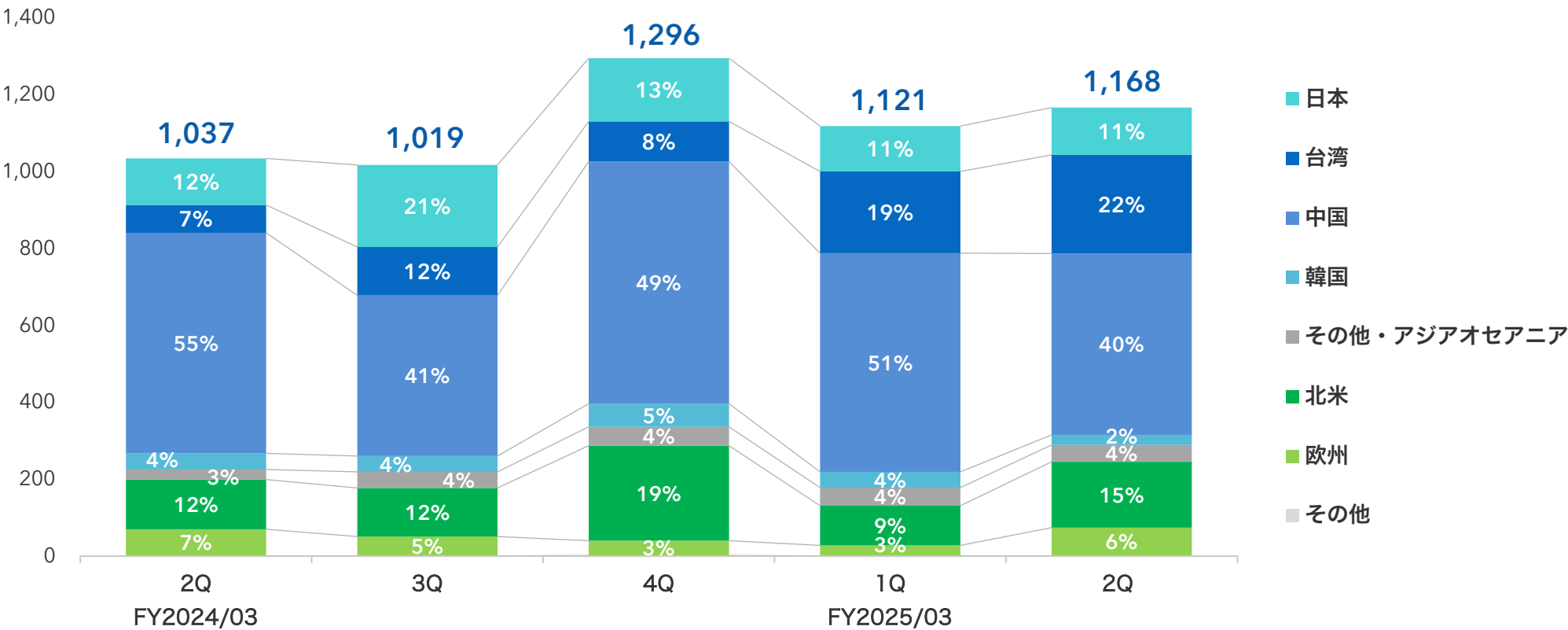
(億円)



ポストセールス
売上高 (億円)

- アプリケーション別 (QoQ) ファウンドリー減少し、ロジック増加
(2Q YoY) ロジックが大きく増
- ポストセールス (QoQ) 実額、比率ともに増

四半期 (億円)

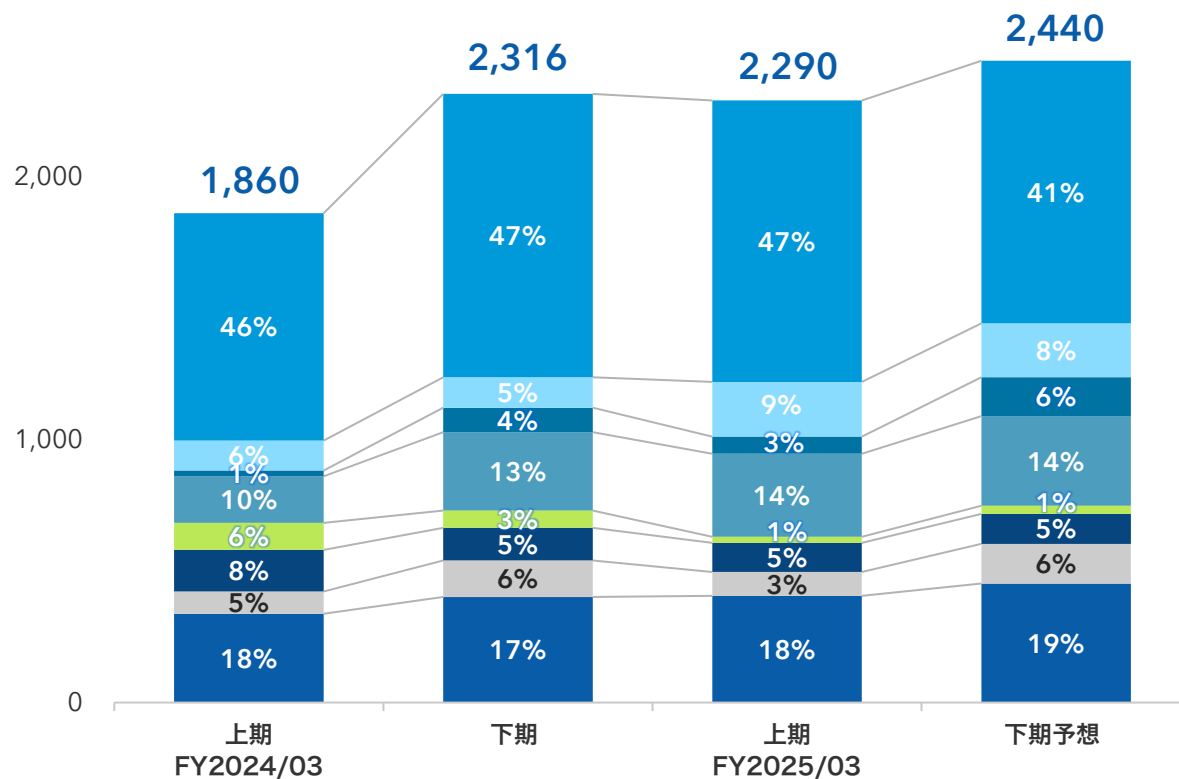


地域別 (QoQ) 北米、台湾、欧州増
(2Q YoY) 台湾大きく増、北米も増

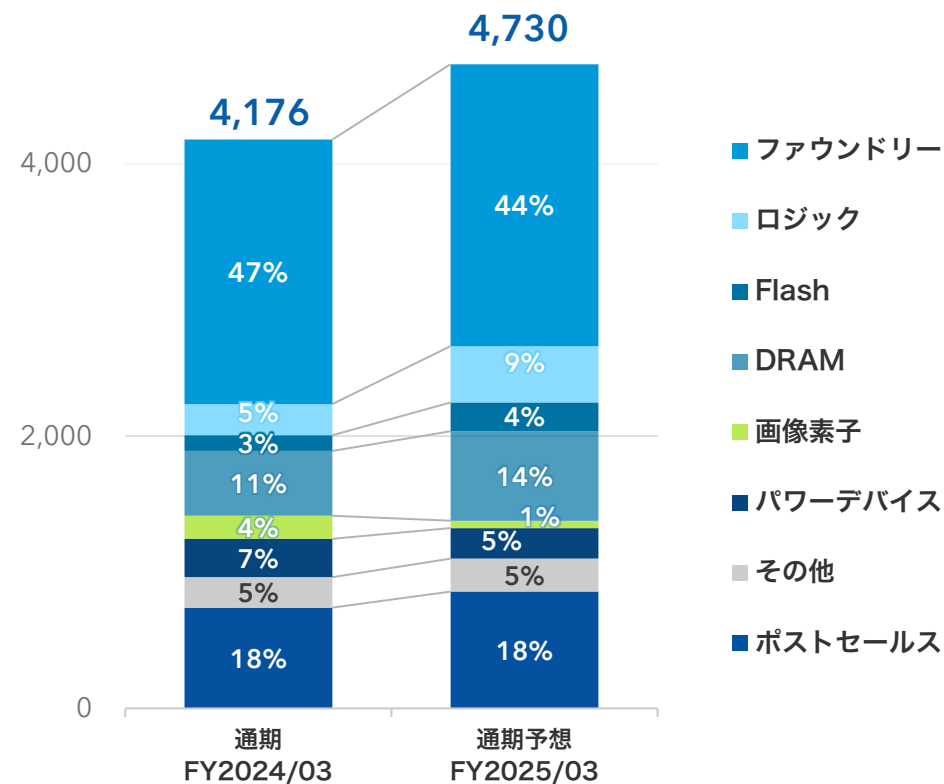
SPE 連結売上高比率予想 新規装置アプリケーション別、およびポストセールス

SPE

半期 (億円)



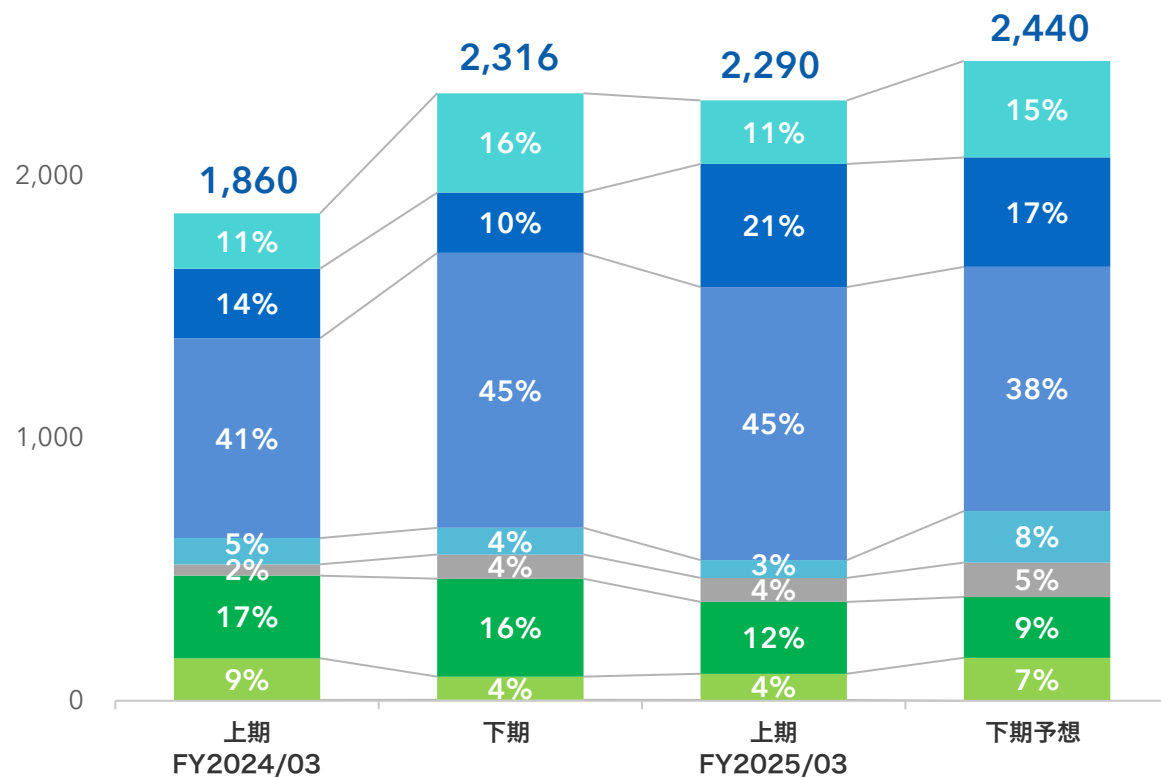
通期 (億円)



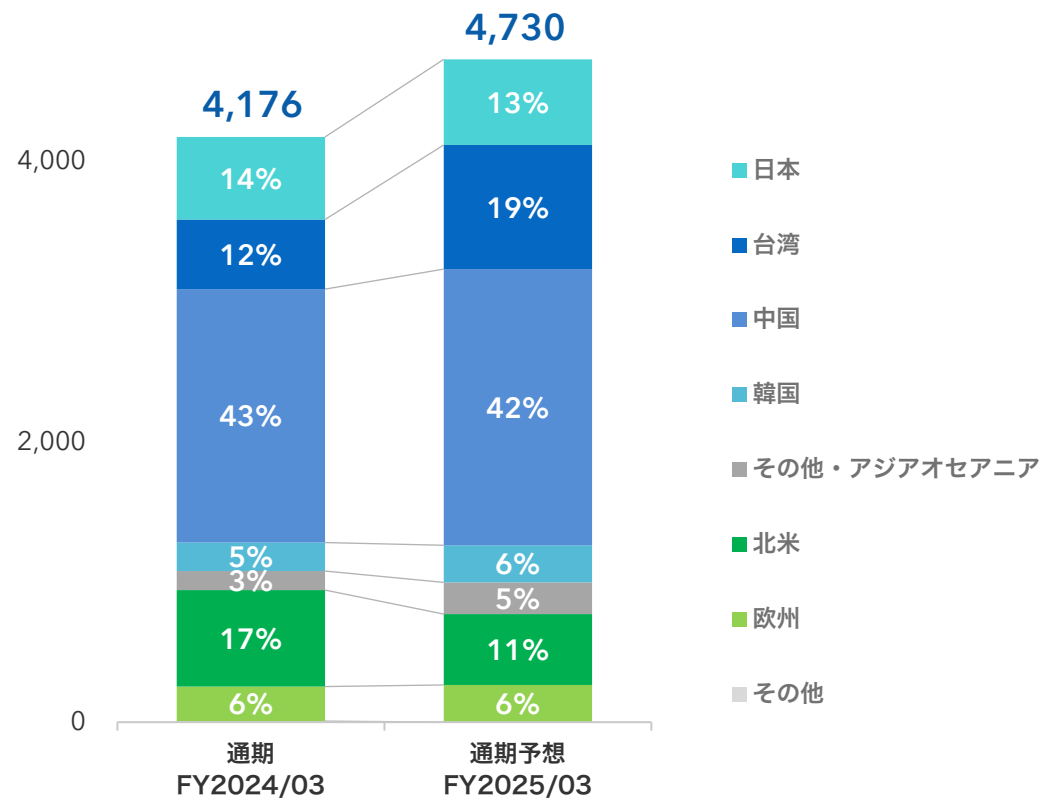
- › 上期YoY DRAM、ロジック増
- › 上期実績 vs 下期予想 Flash増見込
- › 前期通期実績 vs 今期通期予想 ロジック、DRAM、Flash増見込

SPE 連結売上高比率予想 地域別 仕向地ベース

半期 (億円)



通期 (億円)

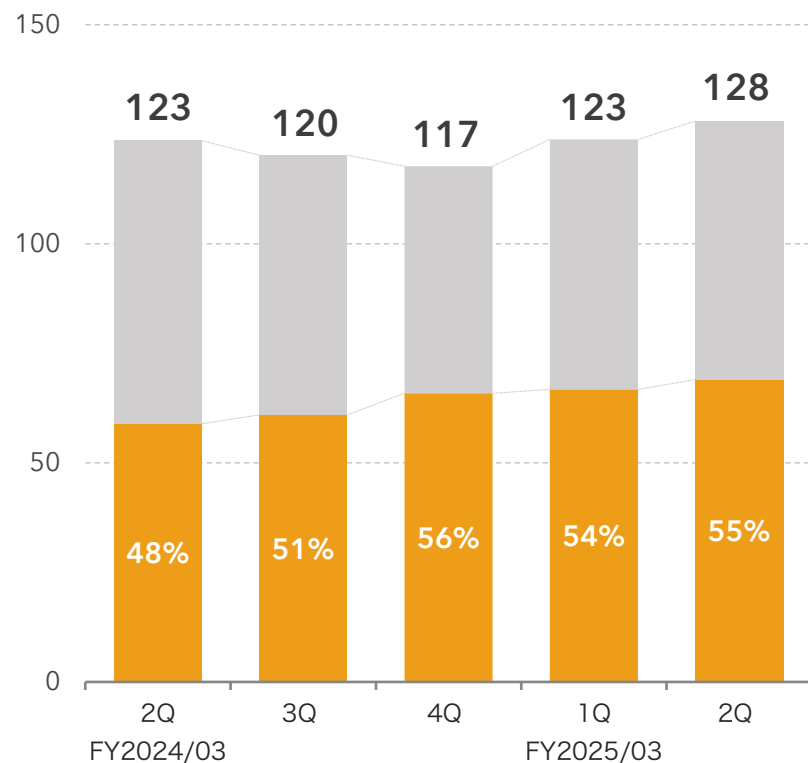


- › 上期YoY 台湾増、中国も増
- › 上期実績 vs 下期予想 日本、韓国増、下期中国比率は7月予想より増
- › 前期通期実績 vs 今期通期予想 台湾大きく増、中国は比率下がるも実額増

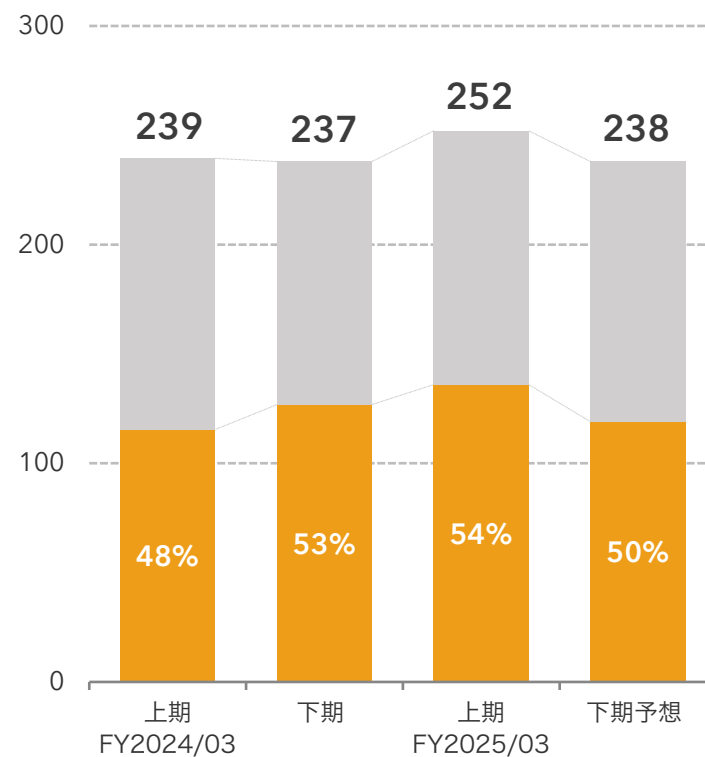
GA 連結売上高推移

GA

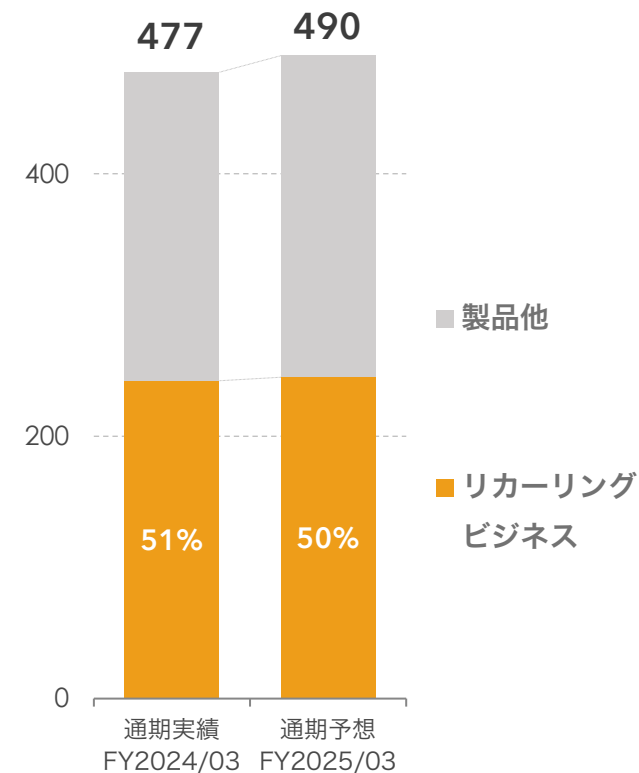
四半期 (億円)



半期 (億円)



通期 (億円)



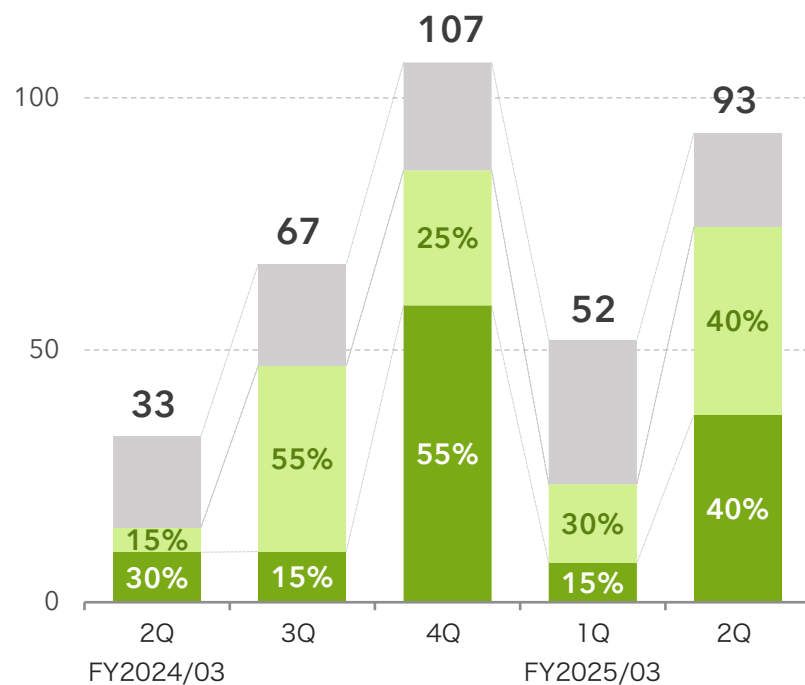
*注) 予想比率は、5%刻みの「約」表記

› インクを中心にリカーリングビジネスは安定推移。通期、開発投資をしながら営業利益率向上を目指す

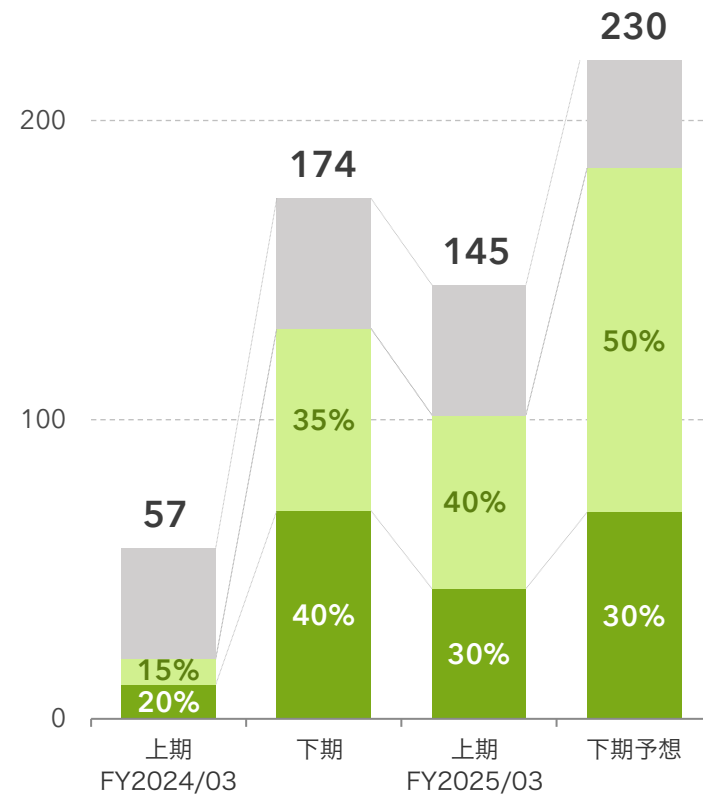
FT 連結売上高推移

FT

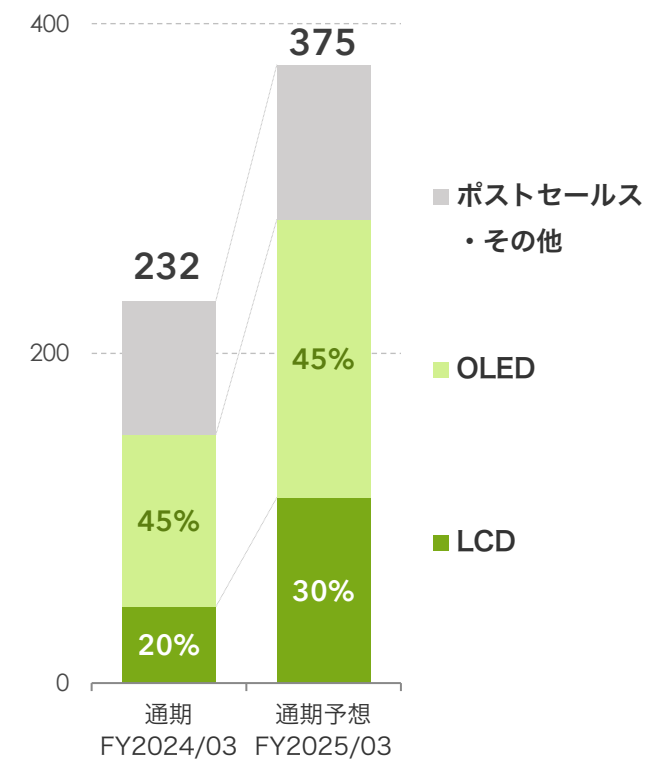
四半期 (億円)



半期 (億円)



通期 (億円)



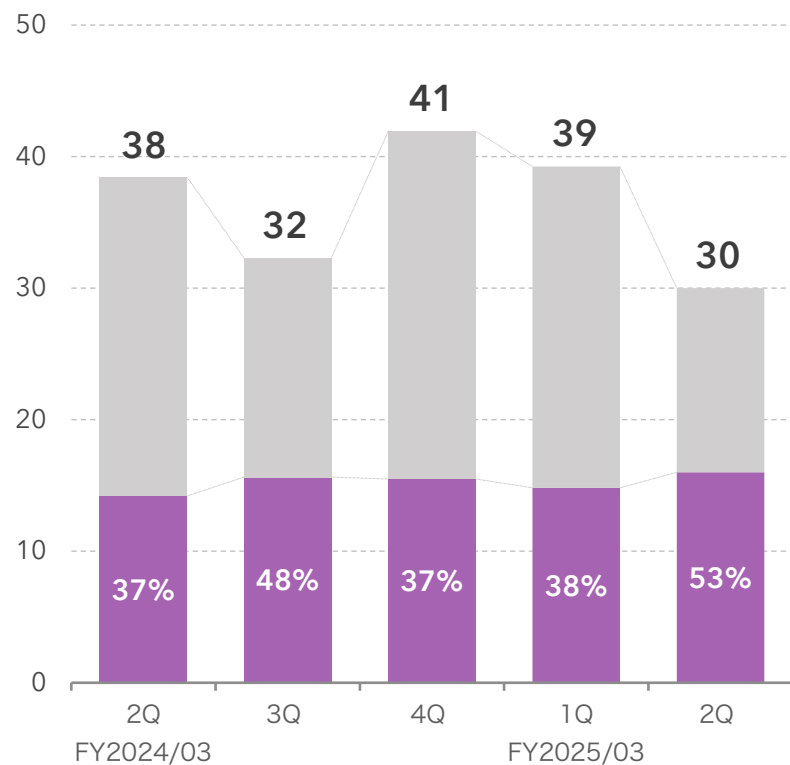
*注) 予想比率は、5%刻みの「約」表記。FY2024から、エネルギーはその他に含める

- ディスプレイ需要は想定どおり好転。下期以降、売上・受注ともにOLED中心となる見通し
- 上期の黒字化に伴い、通期の業績予想を上方修正（3期振りの黒字回復）

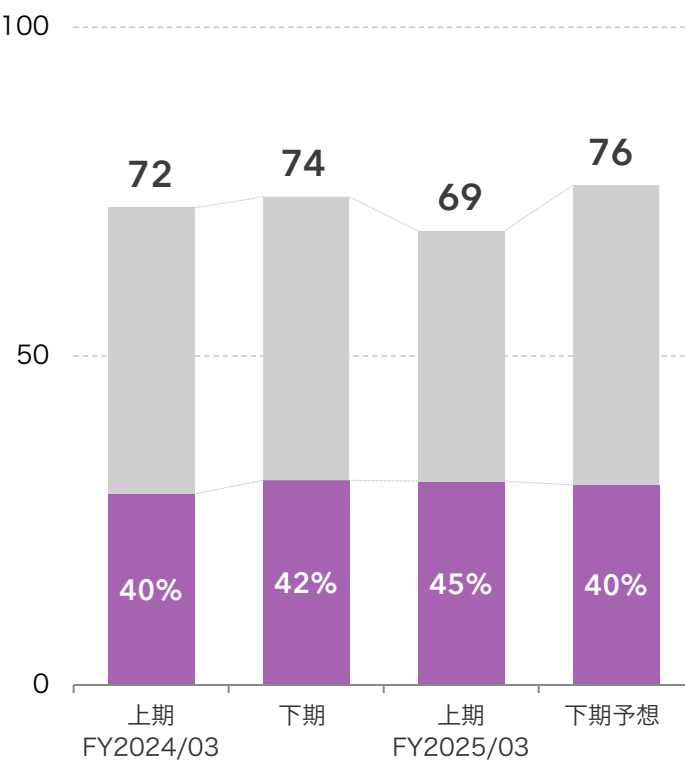
PE 連結売上高推移

PE

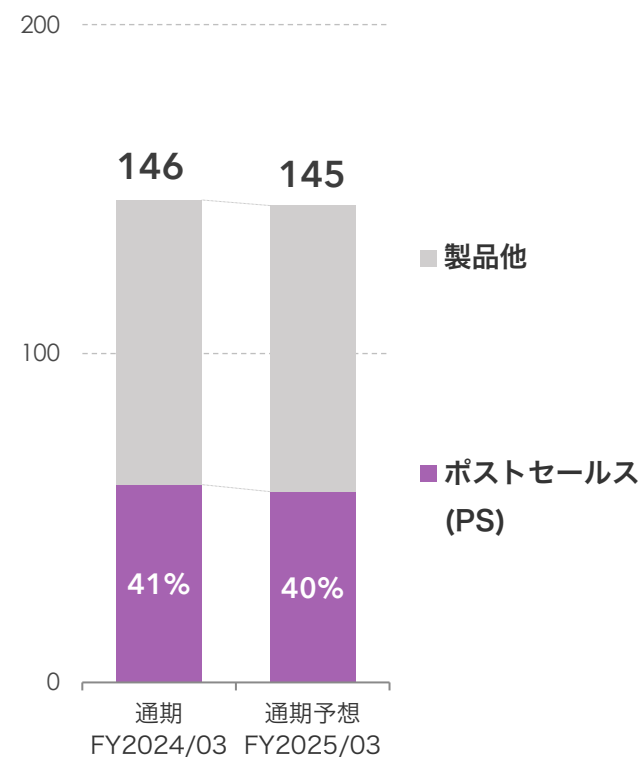
四半期 (億円)



半期 (億円)



通期 (億円)



*注) 予想比率は、5%刻みの「約」表記

- › 基板の微細化を受けたパッケージ向け投資の本格回復は来期以降を見込む
- › ポストセールスは堅調

FY2025/03 業績予想 (2024年10月31日時点)

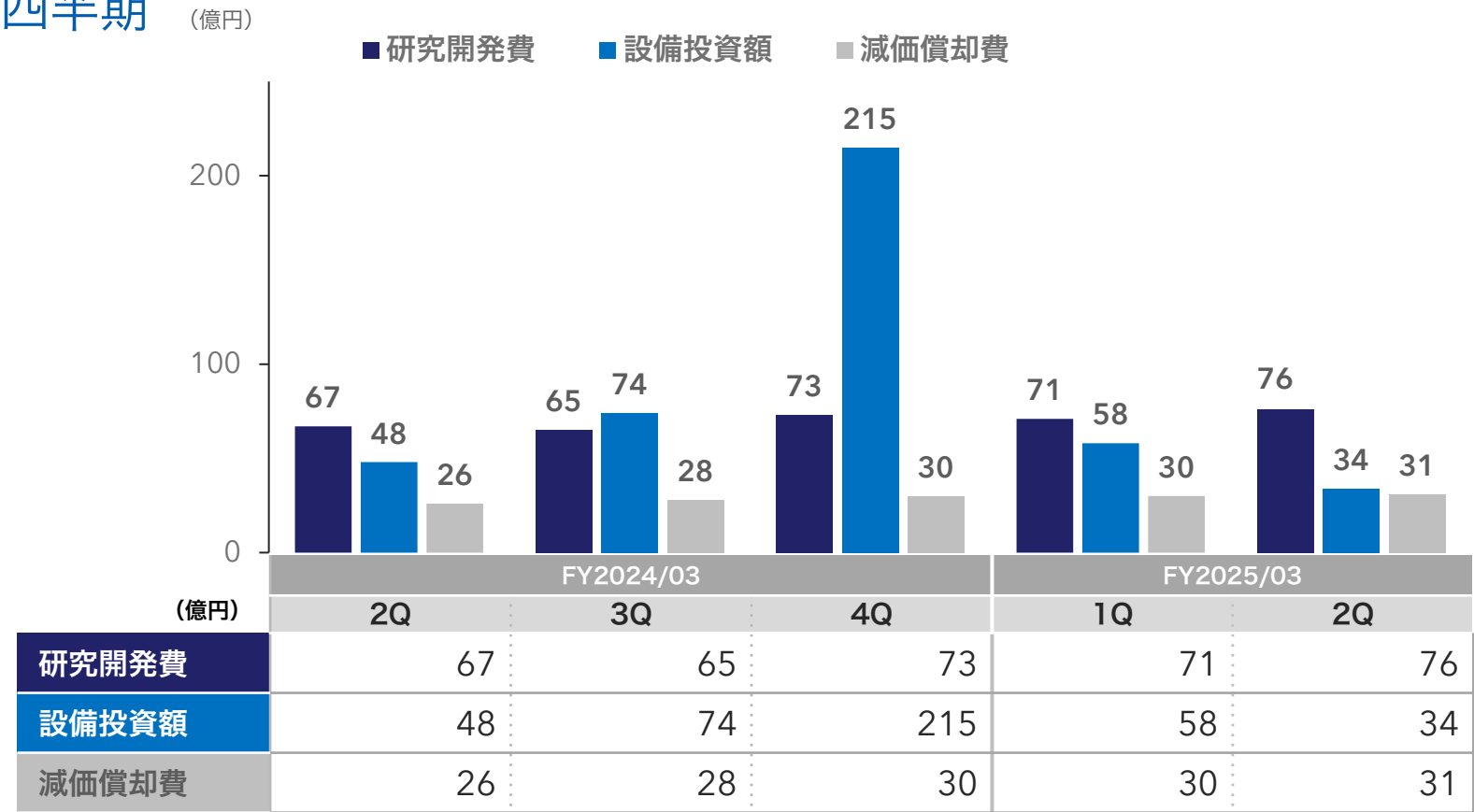
*セグメント別営業利益予想：5億円刻みの「約」表記

		FY2024/03	FY2025/03					
		通期実績	上期		下期		通期	
			7月発表予想	10月発表実績	7月発表予想	10月発表予想	7月発表予想	10月発表予想
(億円)								
売上高		5,049	2,805	2,773	2,840	2,997	5,645	5,770
営業利益		941	530	582	520	553	1,050	1,135
営業利益率		18.6%	18.9%	21.0%	18.3%	18.5%	18.6%	19.7%
経常利益		942	530	586	520	549	1,050	1,135
親会社株主に帰属する当期純利益		705	350	388	400	412	750	800
SPE	売上	4,176	2,330	2,290	2,300	2,440	4,630	4,730
	営業利益	970	575	590	530	585	1,105	1,175
	営業利益率	23.2%	24.7%	25.8%	23.0%	24.0%	23.9%	24.8%
GA	売上	477	240	252	240	238	480	490
	営業利益	42	15	20	15	15	30	35
	営業利益率	9.0%	6.3%	8.0%	6.3%	6.3%	6.3%	7.1%
FT	売上	232	145	145	210	230	355	375
	営業利益	-4	-5	0	20	20	15	20
	営業利益率	-1.8%	-3.4%	0.6%	9.5%	8.7%	4.2%	5.3%
PE	売上	146	75	69	75	76	150	145
	営業利益	18	5	6	15	9	20	15
	営業利益率	12.7%	6.7%	9.8%	20.0%	11.8%	13.3%	10.3%
その他および調整	売上	15	15	15	15	15	30	30
	営業利益	-85	-60	-35	-60	-75	-120	-110

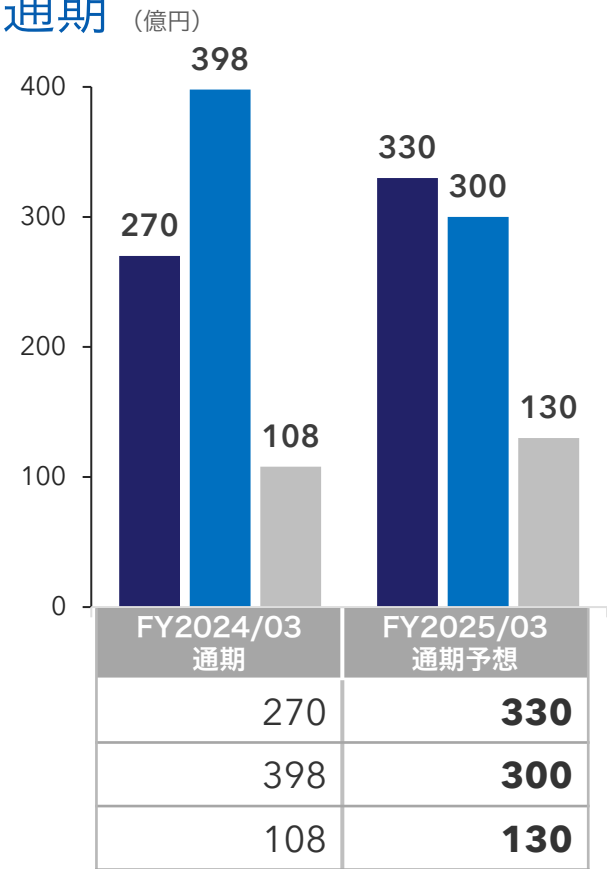
注) FY2025/03 (通期) 想定為替レート>> 1USD=¥140、1EUR=¥150 想定為替感応度 (通期営業利益ベース) >> 対USD：¥0.9億、対EUR：¥0.2億

研究開発費・設備投資計画・減価償却

四半期



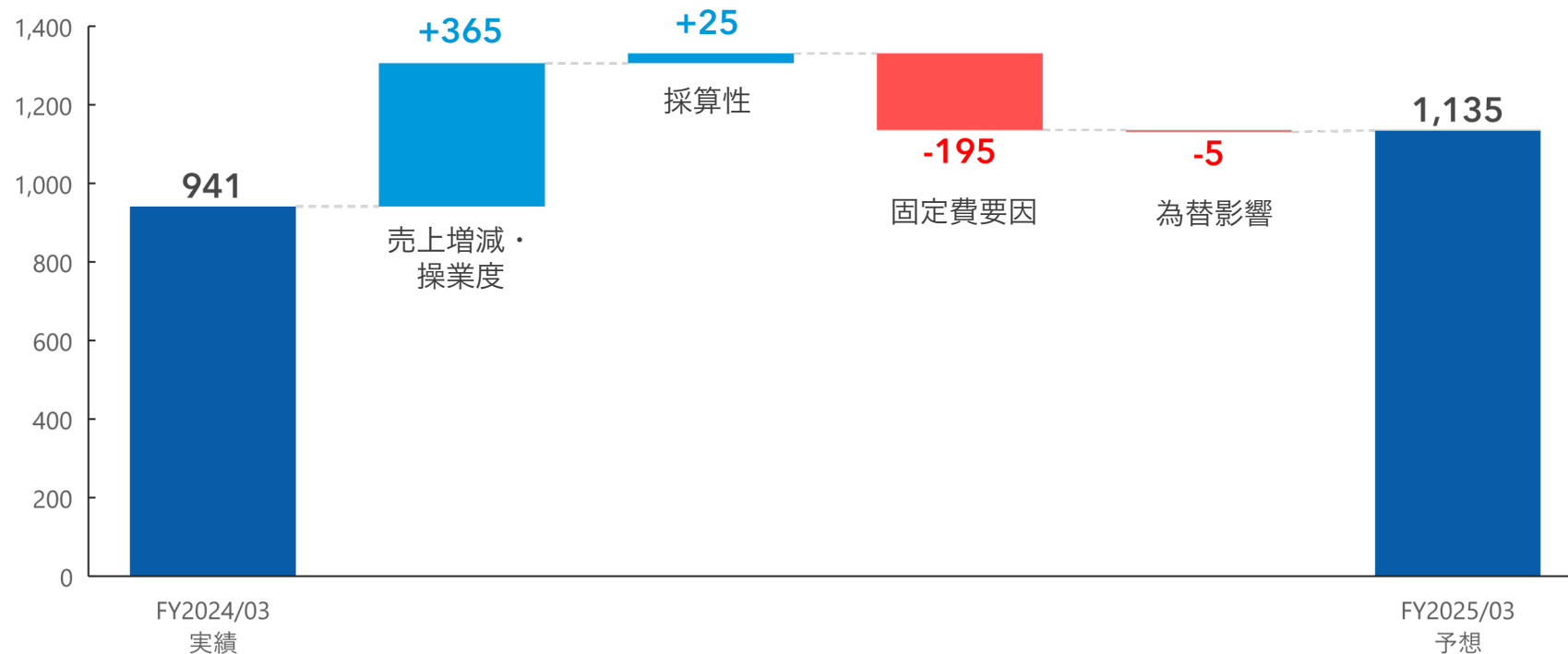
通期



- 研究開発費 上期は概ね計画通りに推移。SPE中心に戦略投資、新規事業領域（ADPKG、水素関連、LS）への投資を増強
- 設備投資額 上期の進捗は若干スロー、下期偏重。SPE中心に研究・生産用設備、彦根・新棟建設（水素関連の拡張）などを予定

営業利益増減分析

FY2024/03 実績 vs FY2025/03 予想 (億円)



※利益要因は、5億円刻みの「約」表記

- › 売上増減/操業度の要因はSPE、FT
- › 採算性のプラスはSPEが牽引
- › 固定費の増加要因は、SPE、HD新規事業、GA、いずれも成長投資（人件費、減価償却費、研究開発費など）

配当について

2025年3月期

中間配当は1株当たり120円（7月予想より11円の増配）
期末配当予想を1株当たり127円に上方修正、年間配当予想247円は過去最高

注）新中期経営計画「Value Up Further 2026」では連結配当性向30%以上を株主還元方針として設定

	2025年3月期			2024年3月期実績
	5月発表	7月発表	10月発表	
1株当たり 中間配当	100円	109円	120円	※ 83.5円
1株当たり 期末配当予想	124円	124円	127円	140円
合計	224円	233円	247円	※ 223.5円

※2023年10月1日付、1株を2株の割合で株式分割を実施
FY2024/03の中間配当金および年間配当金は、株式分割後換算

ESG関連の取り組み

E（環境）

- 「水管理アプリケーション」を彦根事業所全体へ拡充 ～水管理の可視化により環境負荷低減を加速～

S（社会）

- 企業理念浸透施策：経営陣と社員の対話（タウンホールミーティング）実施
（2023年4月～2024年10月までに、海外子会社含むのべ58回開催、約4,300名が参加）

その他

- ESGをベースとしたSR（エンゲージメント）活動を実施中
 - ▶ 面談の対話ツールには、アニュアルレポート2024年度版（9月発行）を使用
 - ▶ SR/ESG面談を重視。継続的に国内外の議決権行使・ESG担当者との対話を実施

最近のグループニュース（公式サイトより抜粋：2024年7月27日～2024年10月31日）



詳細は[こちら](#)（公式WEBページへ）

SPE

- 子会社の株式譲渡に関するお知らせ（2024.10.16）
- 「水管理アプリケーション」を彦根事業所全体へ拡充 ～水管理の可視化により環境負荷低減を加速～（2024.10.24）

GA

- KOMORI と SCREEN GAがアライアンスの連携強化に合意 プリプレスの自動化ワークフローを実現（2024.9.30）
- 京都・久御山事業所に「インクジェットイノベーションセンター京都」を開設（2024.10.2）

AS

- オールラウンドイメージAIソフトウェア「SARIA（サリア）」を発売（2024.8.19）



子会社の株式譲渡に関するお知らせ <2024年10月16日>

株式会社SCREENセミコンダクターソリューションズは、完全子会社であるLaser Systems & Solutions of Europe SASU（フランス）の全株式について、住友重機械工業株式会社に譲渡する旨の契約を10月10日に締結（2024年11月末日に譲渡完了予定）

譲渡対象（株式譲渡）

- (1) 商 号： Laser Systems & Solutions of Europe SASU
- (2) 所在地： フランス
- (3) 事業内容： レーザアニール装置の開発・製造・販売

譲渡の相手先概要

- (1) 商 号： 住友重機械工業株式会社
- (2) 所在地： 日本
- (3) 事業内容： 一般産業機械から精密制御機械まで、各種産業機械の製造販売



「水管理アプリケーション」を彦根事業所全体へ拡充

～水管理の可視化により環境負荷低減を加速～＜2024年10月24日＞

2023年10月、水管理の可視化を実現するFTD solutions社の水管理アプリケーション（WMA）を導入。
「プロセス技術センター」における初期評価を完了し、彦根事業所全体の取り組みとして拡充する

プロセス技術センターで行った初期評価の内容

- ベースラインとなる、水モデルの開発
- 水の需要と保全に関する状況把握
- 水の保全と持続可能性に関するKPIの調整
- 設備レベルでの事業所施設水管理への影響調査

今後の取り組み（一例）

- 彦根事業所内の別施設へのWMAの展開
- 他事業所に適用可能な水管理基準の構築
- 将来のサステナビリティ活動を見越した水モデルの開発とKPI監視等の環境整備
- 水の再生、削減に向けた取り組みの戦略立案

＞ 半導体洗浄装置において、デバイスの微細化による工程数増加とともに、純水の使用量増加が課題に。
今後、水のリユース、リサイクル技術は重視すべき開発テーマとなる

京都・久御山事業所に「インクジェットイノベーションセンター京都」を開設 <2024年10月2日>

- 株式会社SCREENグラフィックソリューションズは、デジタルインクジェット印刷機「Truepress JET」「Truepress LABEL」「Truepress PAC」の各シリーズの製品を設置※
- ショールーム機能に加え、デモンストレーション、サンプル・出力の検証、最適な運用方法のご提案、スキルアップのためのトレーニングの提供など、お客さまのビジネスの発展に貢献する

※ 「Truepress JET 560HDX」「Truepress JET 520HD+」「Truepress LABEL 350UV SAI S」「Truepress PAC 520P」（2024年10月現在）、「Truepress PAC 830F」は別事業所に設置

所在地

株式会社SCREENグラフィックソリューションズ 久御山事業所 久御山東工場内
「インクジェットイノベーションセンター京都」

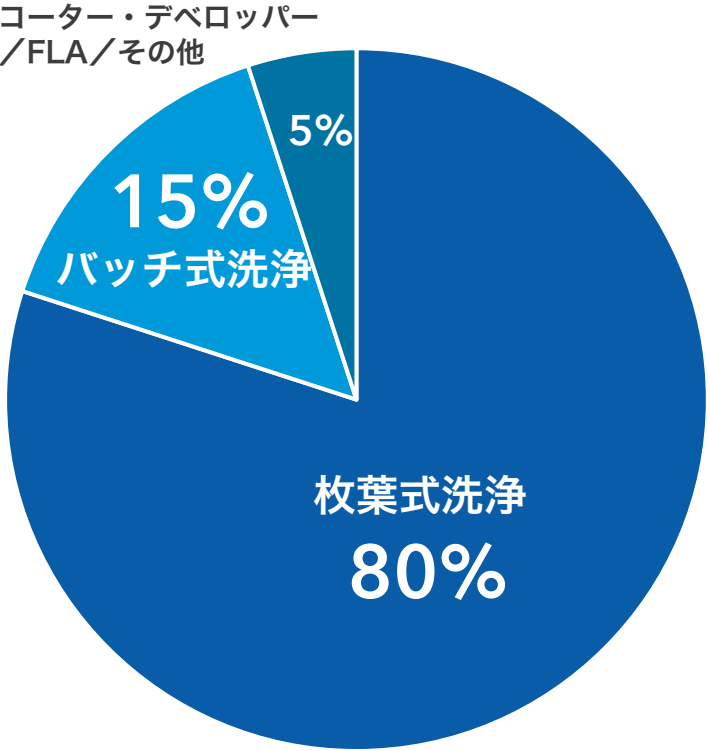
〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地141



インクジェットイノベーションセンター京都

- ▶ 今回の開設により、イノベーションセンターは世界で4拠点目（他3カ所は、東京、米国、オランダ）。ワールドワイドのネットワークを活用し、革新的なインクジェットデジタル印刷技術をソリューションとして提案する

製品別売上高比率 - FY2025/03 上期



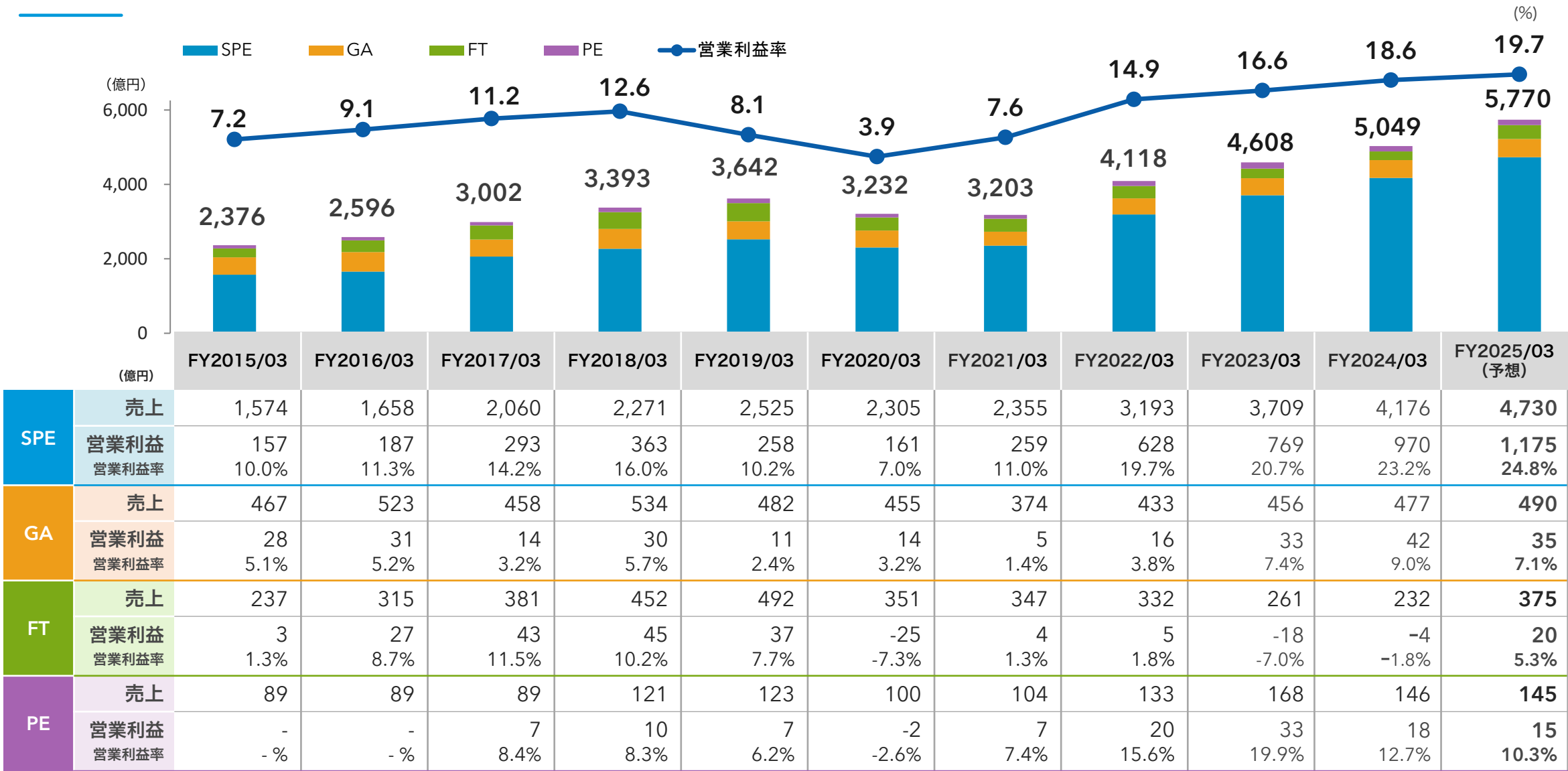
	FY2022/03	FY2023/03	FY2024/03	FY2025/03 上期
(%)				
枚葉式洗浄	70	65	70	80
バッチ式洗浄	25	25	20	15
コーター・デベロッパー /FLA/その他	5	10	10	5

※上記比率は、5%刻みの「約」表記

(億円)	FY2015/03	FY2016/03	FY2017/03	FY2018/03	FY2019/03	FY2020/03	FY2021/03	FY2022/03	FY2023/03	FY2024/03	FY2025/03 (予想)
売上高	2,376	2,596	3,002	3,393	3,642	3,232	3,203	4,118	4,608	5,049	5,770
営業利益	171	235	337	427	296	125	244	612	764	941	1,135
営業利益率 (%)	7.2	9.1	11.2	12.6	8.1	3.9	7.6	14.9	16.6	18.6	19.7
総資産	2,495	2,700	3,006	3,658	3,809	3,479	3,826	4,593	5,628	6,768	-
自己資本	1,108	1,196	1,428	1,708	1,791	1,739	2,083	2,477	2,998	3,718	-
自己資本比率 (%)	44.4	44.3	47.5	46.7	47.0	50.0	54.5	53.9	53.3	54.9	-
ROE (%)	12.3	16.3	18.4	18.2	10.3	2.8	7.9	19.9	21.0	21.0	-
減価償却費	48	50	53	57	68	88	96	95	87	108	130
設備投資額	66	63	82	144	240	79	78	134	290	398	300
研究開発費	139	151	177	208	228	215	215	240	247	270	330
EPS (円)	255.35	396.75	511.96	608.62	387.10	107.37	325.21	976.55	1,216.33	742.10 ^{※1}	822.30
配当金 (円)	35	60	87	110	97	30	90	293	365	- ^{※2}	247 ^{※3}

※1 2023年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施。FY2024/03のEPSは、期首に株式分割が行われたと仮定し算定
※2 FY2024/03の配当金は、株式分割の実施により単純合計できないため非表示
※3 FY2025/03の配当金は、株式分割後の数値

Appendix セグメント別業績推移



※ FY2016/03以前の営業利益・営業利益率は、従来のグラフィックアンドプレジジョンソリューション事業（プリント基板関連機器事業を含む）をグラフィックアーツ機器事業に表示しております

※ セグメント別営業利益予想：5億円刻みの「約」表記